

環研センターNEWS

7月30日
身近な里山を
観察してみよう



オニグルミの木です。実はこうばしくて、おいしかったですよ。



平成18年度 夏休み親子科学教室



いろいろな器具を使って実験をしました。

8月1日
イオンって何？
～水に溶けているものの量り方～



げんしきやうこうばう
原子吸光法でイオン濃度を測ったよ。むずかしい...

「夏休みに親子で科学や自然に触れ、環境について考える機会を持とう！」
夏休みに開催された親子科学教室。今年度もたくさんの親子が参加してくれました。その様子をご報告します。



色が出るろうそく作りにチャレンジしたよ。



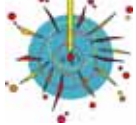
身近なものの酸性・アルカリ性を調べました。



いろいろなものが溶けている水を燃やして、赤や緑、黄色などの色の元が何か調べてみたよ。これを「炎色反応(えんしょくはんのう)」といいます。



8月3日
花火の色は何の色？



～色の元を調べてみよう～

自動車の排気ガスを袋にとり、水に溶かしてpHをバックテストで調べました。思っていたより、酸性になったようです。

8月7日
酸性雨について考えよう





平成18年度 生態学講座

8月19日、第2回生態学講座が鶴岡市を会場に開催されました。

午前中はオリエンテーションの後、植物観察をしながら現地へ移動。「森の人講座」の菊池智恵氏を講師に、木漏れ日の心地よい林の中での講義が行われました。

講義の中では、現場付近の歴史・地理・自然や、現場のマツクイムシ被害とその後の荒廃状況についてのお話がありました。



午後からは暑い中、カマを使っての除伐、刈払いを現地で行いました。みんな、汗を流しながら厳しい自然を体験し、森林の再生の難しさ、重要性を改めて感じたようでした。



みなさん、よくがんばりました!!!



8月25日
中国高校生訪日団

「日中21世紀交流事業」の一環で本県を訪れている中国の高校生60名が、センターを視察・見学に来ました。環境問題に対する関心の高まりは、日本のみならず、著しい経済発展を遂げている中国においても同じです。高校生たちは職員の話に熱心に耳を傾け、興味深そうに施設を見学していました。

7月26日 東根市教員(教材研修会)

東根市の先生方50名がセンターを訪れ、ウインドカー作り、パケットでの生活排水の汚れ調べに取り組んだほか、水生生物調査の仕方と指標生物について学びました。

水生生物を観察中...



出来上がったウインドカーで
童心に戻って競争!



山形県環境科学研究センター

村山市楯岡笛田三丁目2-1

0237-52-3124

e-mail:kankyose@pref.yamagata.jp

編集：環境企画部

平成18年8月31日発行